

## 大和市民活動推進補助金 応募用紙

2006 年 05 月 23 日

大和市長 へ

申請者 住所 非公開

団体名及び代表者名(個人の場合は氏名)

パソコン・コミュニケーション・アシスト ピコピコ

渡辺 由美子

次のとおり応募します。

## 1 . 申請内容

(1) 補助金の区分	(どちらかを で囲んでください) 1 . めばえ . はぐくみ
(2) 事業の名称	パソコンボランティアからパソコン講師(インストラクター)へ! 障害者 (パソコン笑福会学習者) ステップアップ講習会のための パソコン講師(インストラクター)・指導者養成講座
(3) 希望する補助金の額	200,000 円 【上限額: めばえ 50,000 円 上限額: はぐくみ 200,000 円】

## 2 . 市民活動推進補助金で実施したい事業内容

(1) 事業期間	2006 年 04 月 01 日 ~ 2007 年 03 月 31 日
(2) 事業の実施体制	活動場所 主に大和市内 その他( )
実施したい事業の活動場所、活動の拠点、その他事業に協力される人、団体を記載してください。	拠点となる場所 大和市内 その他( ) 無し (実際に事業に携わる人、協力団体など)
3) 事業の目的 補助金で実施したい、事業の目的を具体的に記載してください。	<p>昨年から活動を始め、市民活動推進補助金「めばえ」事業として『楽しく、ためになる「優しく学べるパソコン・IT 普及 訪問事業」を行ったことで、IT・パソコンに触れた利用者(障害者)の「無限の力」を実感した。</p> <p>今後の IT 利活用・習得への可能性に期待すると同時に、利用者(障害者)本人・家族の要望に呼応する必要性が生じた。</p> <p>障害当事者への「社会参加」のきっかけを創るなど、ステップアップ IT 支援を強化するために、より専門的なインストラクタースキルが必要であり、パソコンの講師(インストラクター)スキル及び障害者の特性に応じた講師(インストラクター)スキルを習得したメンバー育成が重要となった。</p> <p>今後、事業計画としている「障害者の社会参加と就労機会の創出」を推進するため、当団体が行うパソコン講習会で指導者・補助員として参加し、学習の進行や IT 機器操作などを指導できる人材を養成する。</p>

<p>(4) 事業の内容</p> <p>補助金で実施したい、事業内容について なぜ、この事業を実施したいのか？ どんな課題を改善するために事業を実施したいのか？ などをふまえ、具体的に事業内容を記載してください。 さらに、事業の先駆性、発展性、新しいアイデア・工夫などもわかりやすく、記載してください。</p> <hr/> <p>「はぐくみ」申請の場合 これまでの活動をどう充実、発展させていくのかがわかるように記載してください。</p>	<p>対象者 主に大和市民 その他( 障害をもつ人及び市外希望者 )</p> <p>(事業実施の意欲・課題改善・具体的な事業内容)</p> <p>&lt; 実施意欲 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者(障害者)の特性を理解し、可能性を育てたい。</li> <li>・ 利用者(障害者)と家族の声に応えたい。</li> <li>・ 様々な障害をもつ人の社会参加・就労機会の創出へと繋げたい。</li> <li>・ たんにパソコンボランティアとしてではなく、パソコン講師(インストラクター)として正しい技術・統一した指導方法を身につけ、より効果的・専門的に育成し、受益者へ提供したい。</li> </ul> <p>&lt; 課題改善 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在のパソコンボランティアは、自己流のスキルであるため指導方法等がまちまちで、利用者が混乱する。 このため、より効果的・専門的な講師(インストラクター)スキルの向上が必要であるため、養成講座を行い人材を育成していく。</li> <li>・ 正しい技術と指導方法を身につけたパソコン講師(インストラクター)がいないので、障害をもつ人の特性や対応を身につけ、より効果的・専門的なインストラクションができるパソコン講師(インストラクター)を増やす。</li> </ul> <p>&lt; 事業内容 &gt;</p> <p>『障害者パソコン講師(インストラクター)指導者養成講座 基礎・応用 10 日間』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 定員:20 名</li> <li>✓ 日程:2006 年 09 月～03 月 会場は保健福祉センター4F 講座室・生涯学習センター等予定</li> </ul> <p>* 養成講座の内容 パソコン技能(基礎・応用)養成講座(スキルアップ)…6 時間×7 日</p> <p>・カリキュラムの項目:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)Windows 基礎・応用 2)Word 基礎・応用 3)Excel 基礎・応用</li> <li>4)グラフィック 基礎 5)インターネット・メール・セキュリティ 基礎・応用</li> </ol> <p>パソコン講師(インストラクター)養成講座(活用・指導力スキル):…6 時間×2 日</p> <p>・カリキュラムの項目:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 講師(インストラクター)の概要 2) 講習会の運営 3) インストラクションテクニック</li> <li>4) 講習会マナーとビジネスマナー 5) 権利の保護と守秘義務</li> <li>6) 演習:インストラクターのスキルアップ・実践トレーニング</li> </ol> <p>障害特性に応じた講師(インストラクター)養成講座(支援技術能力):6 時間×1 日</p> <p>・カリキュラムの項目: 障害特性の理解と支援方法、障害特性に応じた対応など</p> <p>&lt; 活動の充実と発展 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養成講座後は、正しい支援・指導方法を身につけたパソコン講師(インストラクター)による障害者対象のパソコンスキルアップ講習会で、当事者自身の更なる可能性と意欲向上の手助けとなる。</li> <li>・パソコンボランティアが講師としてのスキルを身につけ、活動への自信や個人・団体内の啓発に繋がることへの期待。</li> <li>・IT 普及により利用者(障害者)に芽生えた、余暇的要素のあるパソコン学習から、更なる IT 支援を行うことにより、学習機会の増加とサポートできる体制が整い、社会参加や就労の可能性が拡充・実現へと繋がる。</li> </ul>
---	--

<p>(5)スケジュール</p> <p>事業実施の具体的なスケジュールを記載してください。</p>	<p>(4)の事業内容にて、会場など状況に応じてスケジュールの変動あり</p> <p>パソコン技能スキル:技術力(基礎・応用)・・・6時間×7日</p> <p>パソコン講師(インストラクター)スキル:活用・指導力・・・6時間×2日</p> <p>障害特性に応じた講師(インストラクター)スキル(支援技術能力)6時間×1日</p> <p>日程は、2006年9月～2007年3月を予定。</p> <p>会場は、保健福祉センター4F・生涯学習センター等の予約状況に応じて変動あり。</p>
<p>(7)事業の効果</p> <p>事業を実施することで、誰に、地域に、どのような効果があるのか、具体的に記載してください。</p>	<p>直接効果:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. パソコンボランティアが、パソコン全般のスキルと講師(インストラクター)としてのスキルを習得</li> <li>2. 新規の障害者パソコン講師(インストラクター)を確保できる。</li> <li>3. 利用者へ提供する講習レベルが標準化される。</li> <li>4. 使用者への指導方法のバラツキがなくなる。</li> <li>5. 担当講師が変わっても利用者は継続して受講が可能となる。</li> <li>6. 利用者の選択肢が広がる。</li> </ol> <p>付随効果:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. より多くの学習希望者に応えることができる。</li> <li>2. 障害当事者の新たな社会参加機会の基礎となる。</li> <li>3. 障害当事者の新たな就労機会の基礎となる。</li> <li>4. パソコンボランティアが、講師となることで障害者 IT 支援への自信や個人・団体内での啓発・活性化に繋がる。</li> <li>5. シニア層・主婦層・中途障害者などが、障害者パソコン講師(インストラクター)として活躍し地域社会参加機会の創出となる。</li> </ol>

### 3. 市民活動推進補助金で実施したい事業の収支予算等

#### (1) 事業収支予算

収入には今回の市民活動推進補助金(補助希望額)を入れてください

		項目	内容	金額(円)	
収入	事業に必要な資金	会費収入	正会員・賛助会員 20名 按分 1/2 を当事業へ組み込み	50,000円	
		補助金	大和市民活動推進補助金	200,000円	
		助成金	申請先は未定	240,000円	
		募金・協賛	相手先は未定	50,000円	
		負担金	受講者負担金:人数20名×10日間12,000円(テキスト代含む)	240,000円	
		収入合計(A)			780,000円
支出	事業に使用したいお金	講師料	専門講師謝礼 講師5,000円×60時間(養成講座の講義時間) サブ講師3,000円×60時間(養成講座の講義時間)	480,000円	
		テキスト制作費	原稿料80,000円+印刷費(1,000円/1冊×20人)	100,000円	
		交通・通信費	講師等打ち合わせ、ネット接続費等	50,000円	
		広告活動費	ポスター・チラシ作成費等	30,000円	
		消耗品費	講座用ネームプレート・テキスト印刷用紙等	20,000円	
		諸経費	全日程の機器設備(PC20台借用費、運搬費・ネットワーク環境設定費・会場費等)	100,000円	
		団体保有PCがないため他団体からの借用+不足分はリース等を予定			
		支出合計(B)			780,000円
収支差額 (A) - (B)				0	

(2) 無償分の積算内訳 (金額換算)

ボランティアなど無償で提供された労力などを事業費に算入する場合は積算内訳を記入してください。

積算内訳	項目	内容	金額(円)
	無償分合計(C)		

(3) 事業に要する経費合計

事業に要する経費合計 (B) + (C) = <b>780,000</b> 円 【アミカケ部分の金額の合計】
--

4 . 添付書類

(1) 添付書類	活動実績書類 直近の収支決算書 団体の定款又は規約 及び役員名簿
----------	--

- 1 会報やちらし、報告書、新聞記事の写し等活動実績のわかる資料を添付してください。資料はA4の大きさにそろえてください。
- 2 「めばえ」で、これから活動をはじめるとの予定の場合は、記入及び活動実績書類の添付は不要です。

5 . 第7次総合計画上の体系

(1) 第7次総合計画上の体系  補助金の事業が、第7次総合計画の基本計画でどの体系に属するのかをし、個別目標・達成された姿を記入してください	<b>【基本計画1 まちづくり編】</b>	個別目標
	1 - やる気を活かせるまちをつくる 1 - 子どもが健やかに育つまちをつくる 1 - 3 安全に暮らせるまちをつくる 1 - 一人ひとりが大切にされるまちをつくる 1 - 5 人のつながりがあるまちをつくる 1 - 6 次世代へ引き継げるまちをつくる	1-1-3 経済活動を活発にする  1-2-2 次代を担う子どもの生きる力を育む  1-4-2 誰もが安心して暮らせる福祉環境をつくる
		目標が達成された姿
		1-1-3 市内で働く人が増えている  1-2-2 子どもの個性、能力に合った教育環境が整っている  1-4-2 誰もが必要な支援を受けられている